

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(337)(HP 収載) —ハイドンの弦楽四重奏曲とベートーヴェンの弦楽五重奏曲—

1. 始めに

前報(336)に引き続き、STAGE+のハイドンの弦楽四重奏曲とベートーヴェンの弦楽五重奏曲の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(326)に引き続きハイドンの弦楽四重奏曲とベートーヴェンの弦楽五重奏曲を選びました。

チリンギリアン弦楽四重奏団と今井信子が奏でるベートーヴェンの弦楽五重奏曲
ウイグモア・ホール

チリンギリアン弦楽四重奏団と今井信子が奏でるハイドンとベートーヴェン
ソリスト:

今井信子 (ヴィオラ)

演奏:

チリンギリアン弦楽四重奏団

曲目:

ヨーゼフ・ハイドン 弦楽四重奏曲変ロ長調 Hob. III:69

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 弦楽五重奏曲ハ長調



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用して

います。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

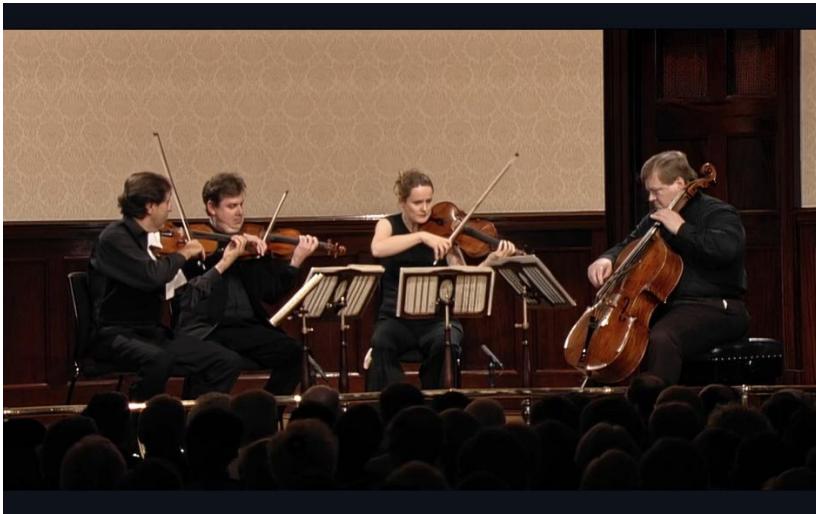
また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

ハイドンの弦楽四重奏曲変ロ長調は、お馴染みの曲で、古典派のハイドンらしくすっきりとまとまった曲で、チリンギリアン弦楽四重奏団が爽やかに演奏しています。

ベートーヴェンの弦楽五重奏曲ハ長調は初めて聴く曲で、チリンギリアン弦楽四重奏団に今井信子のヴィオラが加わります。この弦楽五重奏曲は、ベートーヴェンの初期の弦楽四重奏曲の印象に近く、中期の弦楽四重奏曲のようなアグレッシブなところはなく落ち着いた曲です。ヴィオラが加わったところで、弦楽四重奏曲より中低域の厚みが増しています。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、ハイドンの弦楽四重奏曲とベートーヴェンの弦楽五重奏曲の室内楽らしい凝縮した演奏が聴けました。

以上